

日本人学校卒業式及び入学式

ドバイ日本人学校において3月15日は卒業式、4月12日は入学式が開催され、道上総領事が出席して祝辞を述べました。

卒業式では多くの思い出を抱いた卒業生の皆さんの晴れ晴れした、かつ凜とした表情が印象に残りました。卒業生の皆さんが新学期、あるいは新たな進路で未来に向かって一層羽ばたいてくれることを願っています。



入学式では新小学1年生、中学1年生とも、初々しく、在校生があたたかく、且つしっかりしていました。新入生の皆さんが新しい生活の中で、これからの「ドバイの暑さ」に負けず、勉強に、遊びに精一杯取り組んでくれることを期待しています。

保護者の皆様、改めましておめでとうございます。

総領事館としましては、今後ともドバイ日本人学校及びドバイ北部首長国日本人会の皆様方と緊密に協力しながら、お子様方の日本人学校での健やかな成長を支えていく助力になりたいと考えております。

(この他にも、学校の行事にお招き頂き、祝辞を述べさせて頂くことが何度もありました。ありがとうございます。国際性と、日本ならではの良い伝統を併せ持つイベントはいつも印象的です。

福沢諭吉が「学問のすすめ」で強調したのは、万人平等ということに留まらず、学ぶ人とそうでない人とは人生が大きく違って来る、学ぶ人が多い国とそうでない国では国の運命が大きく違って来るということでした。

子供は2人とも高校を卒業しましたが、私は先生方やご父兄、生徒達に、この古典的なメッセージを伝えたいと考えています。)